



I 第18週の発生動向 (2022/5/2~5/8)

1. 警報・注意報は発令されていません。

II 第18週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科															0	
小児科	インフルエンザ															0
	RSウイルス感染症															0
	咽頭結膜熱			1	0.11							1	0.25	2	0.05	-1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.25	1	0.11									3	0.07	2
	感染性胃腸炎	10	1.25	22	2.44	28	2.80	12	2.40	14	2.33	2	0.50	88	2.10	-25
	水痘	1	0.13	3	0.33									4	0.10	3
	手足口病															0
	伝染性紅斑			1	0.11							1	0.17	2	0.05	2
	突発性発しん	2	0.25	4	0.44	6	0.60			2	0.33			14	0.33	0
	ヘルパンギーナ					1	0.10							1	0.02	1
流行性耳下腺炎															-1	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎											1	0.50	1	0.09	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	0
	無菌性髄膜炎															0

■は警報、■は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓



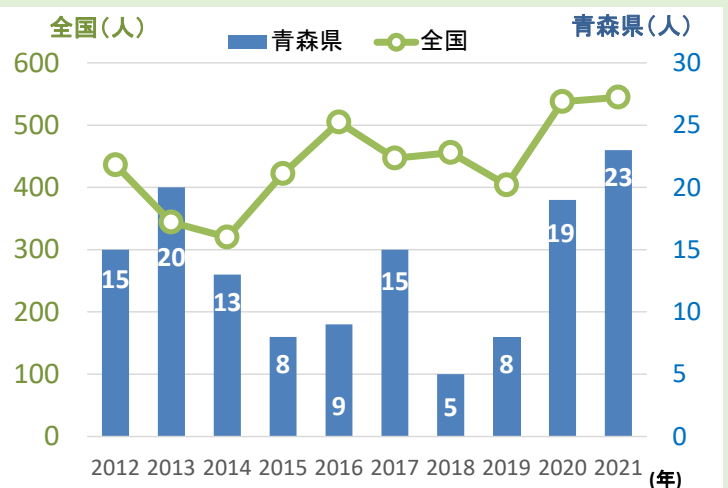
つつが虫病は、病原体(つつが虫病リケッチア)を保有するツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されて感染する病気です。

ツツガムシに刺されてから5~14日の潜伏期の後に、**発熱**、全身倦怠感、頭痛、リンパ節腫脹などの風邪様症状と**発疹**がみられます。多くは脇の下や陰部など皮膚の柔らかい部分に**刺し口**が見られ、これを発見することが診断の重要な手掛かりになります。特に、**発熱**、**発疹**、**刺し口**は主要3徴候とよばれ、およそ90%以上の患者にみられます。

県内では、近年、報告数が増加傾向にあり、昨年2021年に、過去10年で最も多い23人の報告がありました。(図)

これから、山菜採りや農作業で、「つつが虫病」が多発する時期となります。山林、草むら等に立ち入る際には、肌の露出を避ける服装を心掛け、帰宅後は入浴して体をよく洗い、刺し口がないか確認しましょう。

つつが虫病



図：青森県及び全国におけるつつが虫病患者報告数推移 (2012年~2021年)



○詳しい情報はこちらをご覧ください。☞ [ツツガムシ病とは\(国立感染症研究所HP\)](#)

ツツガムシ病とは 🔍

Ⅲ 全数把握対象疾患

・結核（二類感染症）：青森市1人、上十三1人

（2022年計：55人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2022年第15週～第18週）

週	東青 （東地方保健所+ 青森市保健所）	中南 （弘前保健所）	三八 （三戸地方保健所+ 八戸市保健所）	西北 （五所川原保健所）	上北 （上十三保健所）	下北 （むつ保健所）
15		梅毒1人	梅毒3人		水痘（入院例）1人	
16						
17		クロイツフェルト・ヤ コブ病1人 劇症型溶血性レン サ球菌感染症1人				
18						

・第17週に弘前保健所管内でクロイツフェルト・ヤコブ病1人の届出がありましたので、追加しました。

Ⅵ 結核（二類感染症）（2022年第15週～第18週）

（人）

週	東青 （東地方保健所+ 青森市保健所）	中南 （弘前保健所）	三八 （三戸地方保健所+ 八戸市保健所）	西北 （五所川原保健所）	上北 （上十三保健所）	下北 （むつ保健所）
15		1		1		
16	3		1	2		
17		1				
18	1				1	

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2022年第1週～第17週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病	回帰熱	重症熱性血小板減少症候群
累積報告数	4449	10	272	3	146	23	6	3	5	17

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類
疾病名	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢
累積報告数	53	6	20	1	1	5	2	332	1	150

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症
累積報告数	61	459	4	79	1	54	243	265	9	62

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん
累積報告数	2	384	86	3213	45	18	53	180	1	1

分類	五類
疾病名	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	1

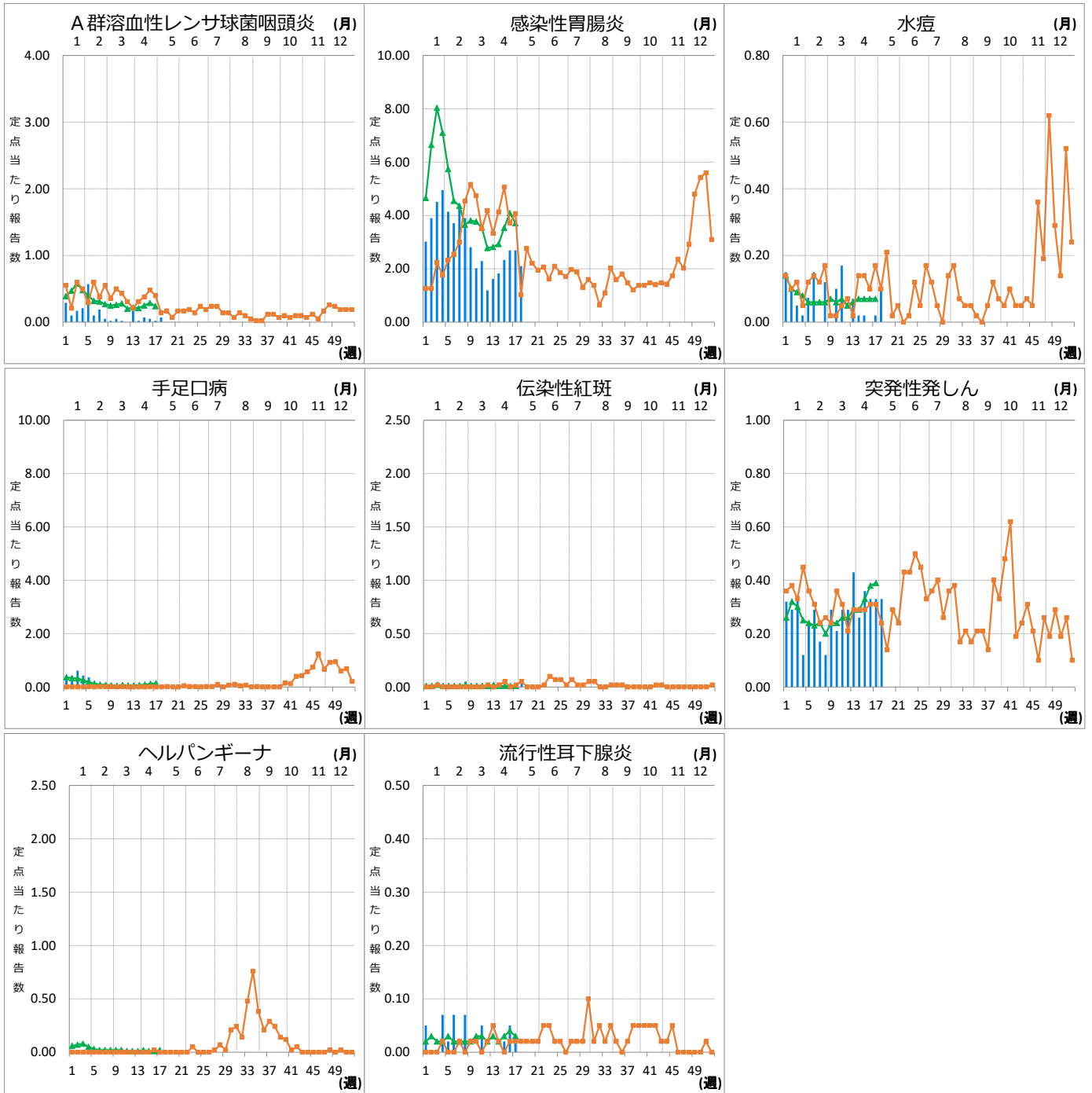
青森県（2022年第1週～第18週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	55	1	1	7	1	4	2	1	7

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2022年第18週、ただし全国は前週）

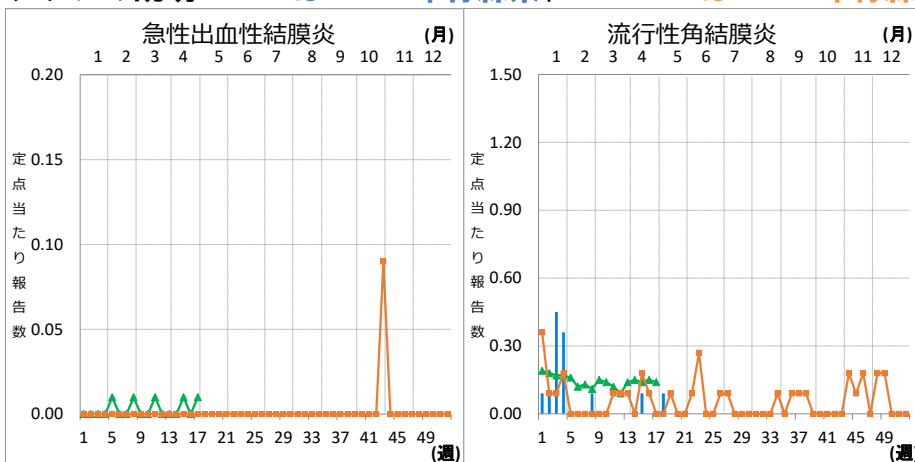
グラフの説明 ■は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国





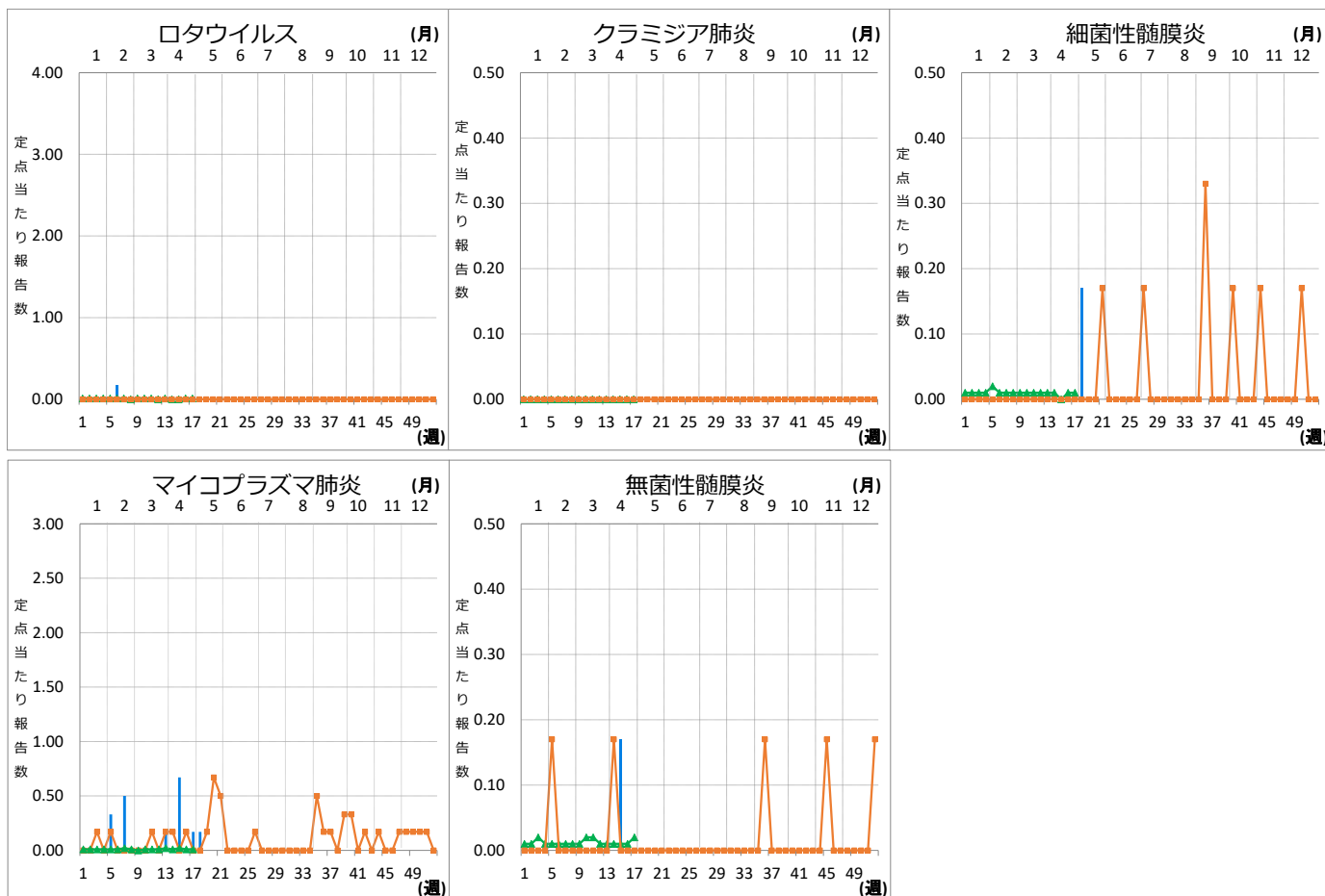
Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2022年第18週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2022年青森県、■—■は2021年青森県、▲—▲は2022年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2022年第18週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2022年青森県、 は2021年青森県、 は2022年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2022年第18週

報告はありませんでした。

2022年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14週-17週	18週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	6	2	2	0	0	10
	発症者数	157	29	37	0	0	223
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	6	2	2	0	0	10
	発症者数	157	29	37	0	0	223